

(5) 環境の関北 * 一人一人の心の潤いや温かさを育む

今日、地球温暖化の問題をはじめ、地球環境に対する話題が全世界的に論じられ、わが国でも自治体や産業界はもとより、家庭レベルでも4R運動等、環境問題に対する関心が高まっています。

この流れの中で、学校教育においても、次代を担う児童一人一人が身の回りの環境改善に関心を持ち、すすんで自然や環境に働きかけ、自らできることを考え、実践しようとする意欲を育むことが求められています。特に、東日本大震災後は、児童の身の回りの安全への関心を含め、環境に対する問題意識も高まっています。本校では、校舎等全面改築工事により、豊かな自然に恵まれていた環境は一旦なくなりましたが、現在、令和5年に向けて環境整備の計画を進めているところです。「フラワーサークル」の皆様をはじめ、ボランティアの皆様の積極的な支援を生かしながら、引き続き、周囲の自然環境に関心を持ち、生命を尊重する態度やよりよい地球環境を維持発展させていこうとする意欲・態度を育てていきたいと考えています。

方針	中・長期目標	短期目標	具体的方策	評価規準	評価方法	評価主体
環境の関北 心の潤いや温かさを育む	持続可能な社会形成に向けた自覚と意欲の高揚	学校版ISOの一層の推進 自然や身の回りの生活について考える環境教育の推進 * 東日本大震災等の大地震や新型コロナウイルスによる感染症等への対応を含む。	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の環境に関わる先端技術の学習 4R運動の推進 リフューズ〔不必要なものを買わない、もらわない、断るという考え。〕 リデュース〔ごみの容量やごみそのものの全体量を減らしたりする運動。〕 リサイクル〔古紙・空き缶などを回収し、再生利用する運動。〕 リユース〔使い終わったものをそのままの形で再使用する運動。〕 節電・節水等への積極的な協力 	<p>企業や施設等の先端技術に学び、環境の維持発展に対する関心が高まったか。</p> <p>節電・節水に全校的に努め、4Rに対する意識が高まったか。</p>	<p>児童の変容</p> <p>実施状況</p>	教職員
	新校舎における環境の充実	新校舎の環境を将来に向けて維持しようとする取り組み	<ul style="list-style-type: none"> なかよし班活動や学年ごとの様々な掲示物の活用 	<p>研究成果が分かる掲示物の工夫がなされ、児童の学習への関心が高まったか。</p> <p>校内掲示計画をもとに、児童の活動状況が伝わる掲示物が提供されたか。</p>	<p>掲示状況</p>	保護者
	心に潤いを与える学校環境の整備・充実	<p>フラワーサークルの皆様との連携による草花の育成・管理</p> <p>「サクラソウプロジェクト」の継続推進</p> <p>(新校舎落成とコロナの収束状況に合わせ可能な範囲で)</p>	<ul style="list-style-type: none"> フラワーサークルの皆様との連携〔校内の草花の写真掲示を含む〕 周年行事で取り組んだ「サクラソウプロジェクト」の継続推進 <p>(新校舎落成とコロナの収束状況に合わせ可能な範囲で)</p>	<p>校庭に残された花壇をはじめとする校内の自然環境が保全されたか。</p> <p>サクラソウによる地域社会との絆づくりが進められたか。</p> <p>(新校舎落成とコロナの収束状況に合わせ可能な範囲で)</p>	<p>活動状況</p>	<p>児童</p> <p>保護者</p> <p>地域住民</p>